時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

時事新報

第三千二百七十四號
明治廿五年二月廿五日　木曜日
書暦壬辰正月廿七日（丁、亥）
月出午後六時十九分　入午後四時三十二分
月入午後一時十八分　日出午前六時三十分
（西暦一千八百九十二年）

木曾川以西ノ看客諸君ニ謹告ス

昨年凶災ノ爲メ東海鐵道名古屋大垣間不通トナリ新報遞送ノ不便不尠其餘名古屋木曾川間開通致候得共尚木曾川大垣間ノ道路非常ニ困難ニシテ大風雨又ハ降雪杯ノ節ハ往々大垣ノ發車時間ニ後レ配達ノ時間一定ナラズ看客ノ御迷惑此上モナキヲニ存シ候尤モ此事タル決シテ本社又ハ賣捌人ノ不注意ニ出ヅメル儀ニハ之レ無ク前項ノ事情ニヨリテ無止次第ニ候間事情御賢察ノ程奉希上候汽車全通ノ期モ最早遠カラザル内トノ事ニ候ヘバ愈全通ノ上ハ一定ノ時間ヲ以テ迅速ニ配達可申候間不相變御愛讀ノ程懇願仕候先ハ右御斷マデ如斯ニ御座候敬具

東京市京橋區南鍋町二丁目
時事新報社賣捌掛

時事新報社賣捌掛

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價遞送料廣告料は左の如し

一枚二錢〇一箇年前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓〇月賦使用

〔〇時事新報社より直接に送付スルモノハ右定價ノ外ニ一箇月十三錢の遞送料ヲ申受ク〕

時事新報廣告料（廣告）

一行五號活字廿四字詰	一回限	一日以上六日迄	七日以上十日迄
一行　一ヶ月	十三錢	十一錢	十錢五厘

時事新報

本社（寄稿れ付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を賑盛するより各社同一の記事を掲ぐるみと寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向け送るべきを請ふ

皇族の教育

翻に案ずるに目下我皇族の教育は徒に文弱の風を一變して只管尚武の精神を旨とせらるゝもの〻如し傳承する所に據れば皇太子殿下の御教育振りの如きは武官の人を以て之に任じ專ら勇壯活潑の御氣質を發達し奉るみとに注意を怠らず其他各皇族方の教育法も其方向は大抵尚武の氣象を奬成するに在りと云ふ蓋し皇族をして軍職に就かしめらるゝは我國古來の風習なるのみならず西洋各國ともに其就を同ふする所にして自から深意の存するものなれば其教育に尚武の精神を貴ばるゝは固より怪る可き處なれども我輩の私見を以てすれば單に尚武の一偏に止まらず全體に渉りて教育の完備ならんみとを希望し奉るものなり世界各國の事例を見るに皇族の教育に就ては尚武體育の一點も固より等閑に付せざれども智育なり德育なり凡そ人生の發達完備に必要なる諸學科は之を重んじて偏廢を怠らず殊に皇族は其樂者の地位を保つが爲めに教育の完備を要するのみならず今の世界に於ては他國同族との交際往來も頻繁にして其品位發達の如何は自から國の體面にも關するものなるが故に交際に必要なる禮式及び各國の語學の如きは必修の學科として之を勉むるの風なりと云ふ現に彼の國々に於ては帝王皇族等の會合あるも其公會と私會とを問はず談話の間に介錯者又は通辯者を要する等の事なく主人なる帝王皇族は何れも其賓客の國語にて談話するを常とするは世人の能く知る所にして昨年我國に來遊されたる露國皇太子殿下の如き堂々たる大國の儲位に備せらるゝ御身分なれども其言語擧動を傳聞して以て平生の教育如何を窺ふに足る可し恩ふに費皇太子殿下にも追ひ〳〵御成長の上には何れ海外御巡遊の御事もある可く又皇族の方々にも既に海外に赴かれたるものもあり又今後も赴かるゝ事あらんなれば御教育の事に任ずる人々は凡そ今の世界の時勢を察し潮外の各國に對して我皇族の品位を保たるゝに適當なる方向を取るの注意肝要なる可し即ち一般の智德に關する御學科は申す迄もなく各國の語學の如きは最も必要のものにして之が爲めには特に適當なる外國の教師を招聘せらるゝも可なり何れにしても其教育の一方に偏せずして今の時勢に晩れざるみとを願はしけれ、皇室に關して憚りなきに非ざれども我輩一片の微忠敢て其事に任ずる當局者の注意を厮る者なり

雜報

○高知縣第二區内の再投票　高知縣第二區中なる幡多郡和田村にては去る十五日に投票したる其投票函を國民自由兩派にて奪ひ合ひをなしたる末、郡書記一名即死する程の騒ぎとなりて折角の投票も縣知事より無効の旨告示されたれども今二十五日に於て更に同村の再投票をなすと云ふ

○軍艦肇鳴の消息　佛國より回航の途中破損の箇所ありとてコロンボ港に碇泊して目下修繕中の軍艦肇鳴の事に就ては機罐に破損を生じたり抔世間に傳ふる者あれ共も右は奪て本紙に記したる如くさる大破損にあらずして只少許機罐に通ずる管に破損を生じたるに過ぎず然るに尚ほ我海軍より公然佛國造船所に掛合ひたる未先方より技士幷に職工來りて修繕に着手したり云々と云ふ者あれども是れも左樣に面倒なる事にあらずと云ふ次第は最初佛國造船所と契約して新造の時より向ふ箇月間と一定の時期を限り若し其間に破損を生じたる時は先方に於て修繕を加ふる等なれば我海軍は只その破損したる趣を通知し彼をして修繕せしむる迄の手數を爲すに過ぎず又その修繕の如きも左迄六箇敷事にもあらねば遠からずして出來上るに相違なく從て四月頃は遲とも本邦に到着すべき見込なりと云ふ

○小學校令の單級教授法に就て　昨年十一月中小學校令に關する文部省令を發布して地方の學務官を召集し種々調査の上本年四月より實施せんとの見込に依り各府縣に於て何れも準備に從事し夫と着手中の由なれども中には込み入りたる事情もありて期日通り實施の運びに至らざる向きも尠からず彼是取急ぎ居る由なるが本省令第十二號の學級編制等に關する規則中全校兒童を一學級に編制するもの之を單級の學校とし云々の一項ありて市町村立尋常小學校に於ては全校兒童七十人未滿なるとき之を一學級に編制し本科正教員一人にて教授し同高等小學校に於ては六十人未滿なるとき本科正教員一人にて教授する割合なれば地方の各小學校教員は取敢えず單級教授法を研究せざるべからずなど種々の議論もありと云ふ尤も該教授法に就ては高等師範學校に於て夙に獨逸風に模倣して研究中のよし昨年末地方の學務官を召集したる際にも右の教授に關する大要を讃じ我國の如き富の度未た充分ならざる學校に在りては費用を節減して民力相應の教育を施すに適當なりとの趣旨を述べたるものもありたれど中には右は全く獨逸に於ける學級編制法の丸出しにて唯其人數異なるのみなれば斯る舶來の新學制は我邦に不適當なりとの說もあり亀に角六七十名に餘れる而かも學力に相違ある生徒を一教室に纏め同時に教授するみとは頗る困難の事にして例へば數學を教授するにも甲組に除法を授くるときは乙組にも成るべく之と聯絡したる問題にて教ふべくなど規則立ちて講究するは地方の小學校教員に向て容易に望むべからざるみとなり去れど右の單級教授法は實際我國に於て明治十七八年の際各地方小學校に專ら行はれたるものにて今更耳新らしきみとにあらず名ゐと單級教授とは稱せざるも當時學級を上中下の三等に分ち三等の内亦各六級に分れて各村落の小學校は多級に分れたる生徒六七十名を一人の教師にて受け持ちたるもの一般の常なりしかば今度の單級教授法とは學級の編制方みを異なれ多學年の生徒を一纏めにして教授する上に於ては更に異るなく却て教師の手不足なりし割合に比しては生徒の學力を進歩せしめたる効力慥かなりし唯其弊害として殘れ難きは注入的教授の風一般に行はれたるの一事にて遂に明治十九年の改正となり小學科を分ちて高等尋常の二科とし二科各四學年に分ち其上に纏めて一學級を一人の教師にて教授するみと〻なり注入的を廢して開發的の教授となしたるも經費の割合には學力も進歩せずして其功少なきより又今回の改正となりて單級教授の議論も起りたるなれ共して舶來の新學制にもあらず亦實際に行はれ難き新教授法にもあらず唯此際主務省にて最も注意すべきは學科止の教科用書にして教授上には動り込み入りたる規律や方法等を定むるみと却て碍はしからず其實手不足の際に當りて餘りぞ〳〵しき規律や方法等に拘泥するときは徒らに時間を要するのみにて更に其効なく從來教育上の一大弊害は開發的の教授法等に深く拘泥せしより風發多くして正味少なきにありしと某教育家は物語れり

○神奈川縣議時縣會の議案　來三月十一月より開會すべき神奈川縣議時縣會の議案は監獄移轉問題及警察費密費追加豫算其他一二件にて會議は凡そ二週間の見込なりと

○大坂市の金融　年中にて大坂の金融最も繁劇なるは十二月にして同市場從來の例によれば十一月よりも却て繁忙を極め日本銀行支店及び其他の各銀行に於ても此月は貸出高最も多きに引替へ本年は異例にも非常の緩慢を示し現に在來丈けに對しても凡そ三百萬圓の資本固定し居るに拘らず既に二十日を後に見たる今日に至りて尚ほ一億六七厘に上らざる本銀行支店の如きも昨年の大高となり居りしに其後漸々減となりし由なるが此緩慢を來たせる場の變動甚しき爲め輸出の輸入商業資本に餘裕を生じ居る先の重なる西國筋の農家は昨年に賣るべき米を手放さず隨て市場融通資本の需用なりと云ふ

○シカゴ博覽會出品に就て　博覽會出品出願期日を本月十日書其他は去る二十日を以て締切が昨今に至るも尚ほ出品を願ふ者多く然れども成る程限經過後の今日なれども成るべくは出願せらざる樣にとの事にて右願書の事なき由にて今日の處にては同出願に四百餘名に達したれば同出品非常に增加せし由なり

○京都府疏水水力の利用　疏水を利用する事に着手し既に第一水車力を以て發電するに至り寺山麓に設けたるインクライン所を設け已に機械の運轉を始め月より開通して荷物搭載船の至十數艘に至り尚ほ今後起る富小路の時計製造會社は右の運轉し京都電燈會社も一千三之に對する發電機備付中なれ今の發電機を廢止するよし其の注文あれども今の配電機は能はされば追々完備の上なる覺悟なりと云ふ而して此水十尺の下位にありて水の高さ壓力の强大なる事内地に比類使用の計畫なれば目下一臺百インクラインの船の上下に亦其他は電燈會社に分配すれ十臺迄備付る筈にて現今は下て發電機備付及增築の設計中

○隣寺輪出高の增加　隣寺の輪出高の增加ひゐる事は毎度記載する處なり康等より清國香港及上海に一順入十四萬七千百五十一箱一圓八十錢と見積れば實に百圓餘の金額に達せり之を一昨年代價にして三十五萬圓寺輪せしもの凡そ一千順ありと云ふ

○大坂の製造所は三千五億兵庫問製造に從事する職工は男達せり目下の商況は原料の格の引立たざる爲め稍々不引に至ては昨年一月に比し本るよしなり

○水道事務掛長・逸話　府廳